



大村市立福重小学校 学校だより

令和4年5月11日（水）

# みどい

文責：校長 田中 康隆

目指す児童像：㊦るさとを愛する子・㊧ふうする子・㊨んせつな子・㊩んきな子

## 朝のできごとから

私は、今年今富の交差点で朝の交通指導をしています。その中で、これまで校門で見てきたのとは違う風景を見ることができています。

### 【その1】雨の中を歩いて登校してきた子供たちとの会話

子供①「校長先生、もうずぶ濡れです。」

校長「学校についたら着替えてね。風邪をひかないように。」

子供②「私は、靴下は持ってきたんだけど…。」

子供③「体操服なら、あるなあ。」

校長「保健室で、貸せるものもあるから保健室に行ってみてね。」

学校に戻って確認をしたところ、濡れないようにビニル袋に入れた着替え一式を持ってくる子供もいました。備えることや雨に濡れても耐えることの大切さを、小さい頃から教えてくださるご家庭に感謝です。

### 【その2】1年生の子供と一緒に歩いて登校してくださる保護者との会話

校長「今日も雨がひどかったですね。」

保護者「私も、雨合羽を買うことにします。もう、びしょ濡れです。」

このお母さんは、学校からお願いしていることもあり、今後も一緒に歩いて来てくださるのだらうと思います。「雨雨降れ降れ母さんが 蛇の目でお迎え嬉しいな ピッチピッチ チャップチャップ ランランラン」という歌があります。この子供にとっては、雨の日がお母さんと一緒に歩いた楽しい思い出になることでしょう。

学校に戻ると6年生の子供たちが1年生のお世話を玄関でしていました。雨合羽を脱がせたり、傘を閉じてやったりするなど、とても頼もしい姿でした。

### 【その3】横断歩道がない場所ですが、車を停止させて子供を渡らせてくださる地域の方々

福重の子供たちは、地域の方々が見守る…そんな気持ちが伝わってきます。子供たちには、①ストップマークで必ず止まること②右・左・右を自分の目で確認して渡ること③停まってくれた車には会釈をすることを指導しています。停まってくれた方も子供たちも、見ている私もいい気持ちになれます。子供たちには、車を停めて子供の横断を優先してくれるこのような大人になってほしいものです。

「福重の子供たちをお願いします」「いつもありがとうございます」という言葉をいただくこともあります。毎朝出会う方々との何気ない会話や励ましの言葉に元気をいただく毎日です。